

# 静岡県某市内水管橋防食補強

施工日： 2017年11月17日  
施工者： (株)折原製作所

(400A)

漏れ箇所無し、無圧の状態での補強



①施工前



②全体的に錆びている状況



③



④錆の凹凸を埋める目的で全体にブチルロール(下地用ブチルゴム)を貼り付ける。



⑤1cm程重ねながら、管肌が露出しない様に注意する。



⑥空気弁の根本は補強と凹凸を埋める目的でオリスチール(金属粉入りエポキシパテ)を充填する。



⑦ ⑥同様、ブチルロールが貼り付けられない箇所はオリスチールを充填する。



⑧



⑨更に、錆の凹凸、細かい隙間を埋める目的で、オリシール（2液混合エポキシレジン）を塗布する。



⑩



⑪最後に、パイプの延命補強材マホータイ（特殊レジン含浸グラスファイバーテープ）を巻き、硬化剤の水を含ませながら、巻いた方向と同じ方向に絞り作業を終了する。



⑫今回は、パイプと壁の距離が近いため、マホータイのロールをある程度ほどいてから巻く事で、施工性を上げています。

## 施工後、約5年経過

配管補強施工日： 2017年11月17日  
施工箇所確認日： (株)折原製作所



約5年経過している状況。



表面の樹脂が飛び、汚れが付着しているが漏水等の異常は見られない。



配管の状態は確認出来ないがマホータイの巻き付けにより延命、維持は出来ていると推測。